

史跡 是川石器時代遺跡

(読み方) しせき これかわせつきじだいせいせき

(英語) Korekawa Site

【所在地】

青森県八戸市是川

【年代】

紀元前 1,000 年頃～紀元前 400 年頃 (約 3,000～2,400 年前)

【キャッチコピー】

竪穴建物・土坑墓・水場・捨て場などを伴う集落跡

【説明文：99字】

中居、一王寺、堀田の3つの遺跡からなる。なかでも、中居遺跡は多様な施設を伴う集落であり、土器・土偶、弓やヤスなどの木製品、漆塗りの櫛などの漆製品が出土し、河川流域における生業や高度な精神性を伝える。

【説明文：144字】

中居、一王寺、堀田の3つの遺跡からなる。なかでも、中居遺跡は多様な施設を伴う集落であり、土器や土偶のほか、漆塗りの弓や櫛などの漆製品が多数出土している。狩猟具や漁労具、クリ・トチなどの堅果類、サケ・マスの魚骨、貯木や堅果類の加工を行ったと推定される水場など、生業の内容を知ることができる。

【説明文：242字】

中居、一王寺、堀田の3つの遺跡からなる。なかでも、中居遺跡は竪穴建物、墓、捨て場、水場など多様な施設を伴う集落である。低湿地の捨て場からは、精巧な土器や土偶をはじめ、漆が塗られた弓や櫛、腕輪、容器などの漆製品が多数出土し、高い精神性と優れた工芸技術を知ることができる。また、弓やヤスなどの木製品、クルミやトチなどの堅果類、シカやイノシシなどの獣骨、スズキやマグロなどの魚骨のほか、貯木やトチのアク抜きを行ったと推定される水場も見つかり、当時の採集・漁労・狩猟による生業の内容を伝える。